

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山形県寒河江市

自治体名：山形県 寒河江市

担当課名：寒河江市教育委員会 学校教育課 学校再編整備室

電話番号：0237-85-1497

1.自治体の基本情報

基本情報

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

面積	総面積139.1km ²
人口	39,636人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	1,082人
部活動数 (運動部活動のみ)	33部活
地域クラブ活動数	設置済
市区町村の協議 会・検討会議等 の設置状況	設置済
市区町村の推進計 画・ガイドライン等の 策定状況	策定済

全国的な少子化の進展、市内の生徒数の減少、学級数減による教員数の減少、そのような要因の重なりによって市内中学校の部活動数が減少している。これまでのような部活動の持続は困難になっている。

本市では、「生徒の主体性を育む活動を支援」ができるように、「生徒が主体的に参加できるスポーツ・文化芸術活動環境の構築」と「教師の時間外勤務時間の削減」を目指して、寒河江市中学校部活動改革検討委員会を組織し、学校部活動と地域クラブの在り方、それを取り巻く環境について話し合いを進めてきた。寒河江市の中学校では、令和7年7月以降は、休日の学校部活動は行っていない。

学校部活動の地域展開に関り、昨年度から準備を進めていた地域クラブもあり、15種目のうち9種目で休日の活動を行い、休日の生徒の活動の場所を確保することができた。

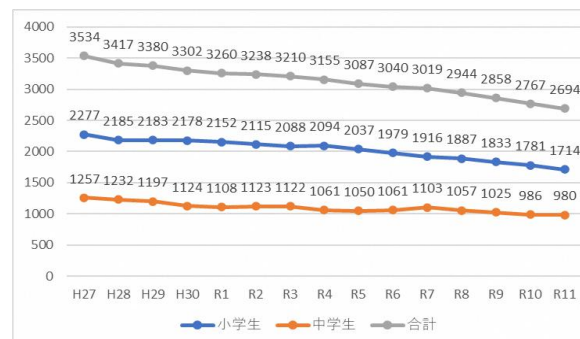
一方で、休日の活動場所が確保できずに、やむを得ず休日は活動をしない種目や保護者が主体となる練習会等が開催されている状況がみられる。また、地域クラブの活動を単なる部活動の延長と捉えている保護者もあり、地域クラブの意義や方針について、今後も周知を図っていく必要性を感じる。

地域クラブについては、保険の加入はされているものの、複数の指導者確保や先を見通した練習計画や早めの連絡といったことへは課題も見られる。

【課題】

休日に学校部活動を行わないこと、生徒数が減少すること、休日の活動を生徒が判断することにより、休日の活動を担う地域クラブの創出と継続的で生徒も保護者も安心して加入できるクラブ運営が課題となる。

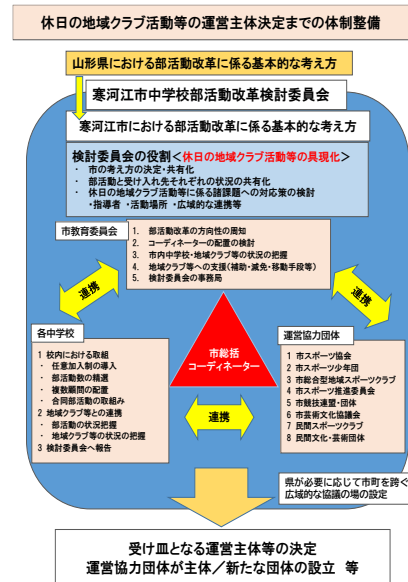
寒河江市立学校児童生徒数の推移



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・ 学校教育課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、学校に関する事項について、地域クラブとの連絡調整について
- ・ 生涯学習課…中学生の地域文化活動の環境整備・文化芸術団体のニーズの把握
- ・ スポーツ振興課…市スポーツ協会、市スポーツ少年団等の関係団体との調整について

◎首長部局（総務課・財政課）

- ・ 地域クラブへの補助金、施設使用料等の条例に関わることの検討。

◎部活動総括コーディネーター

- ・ 地域クラブとの連絡調整の役割。学校長・関係機関との検討会議への参画。市内中学校部活動の現状把握。

年間の事業スケジュール

令和7年4月	部活動総括コーディネーター配置
令和7年5月	第1回検討会議 （市内中学校長との会議）
令和7年5月	第1回検討委員会
令和7年7月	第2回検討会議
令和7年7月	第2回検討委員会
令和7年7月	第1回指導者研修会
令和7年8月	第1回西村山部活動改革協議会
令和7年10月	第2回西村山部活動改革協議会
令和7年11月	第3回検討会議
令和7年12月	第2回指導者研修会
令和7年12月	第4回検討会議
令和7年12月	教職員へのアンケート調査
令和7年12月	第3回検討委員会
令和8年1月	第5回検討会議
令和8年2月	第4回検討委員会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	3校	実施した地域クラブ総数	10クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		8クラブ（19部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2クラブ
全体の指導者数	38人	全体の運営スタッフ数	12人

②各クラブに関すること

地域クラブ名	運営団体種別	活動内容 (種目)	実施回数	実施時間帯	参加者	実施期間	主な活動場所	指導者 数	運営ス タッフ数	会費等	指導について
寒河江 ベースボールクラブ	民間クラブ	軟式野球	土日1日	土曜日または日曜日 8:30～11:30 (試合日は計画によ る)	3年生：11人 2年生：5人 1年生：7人	令和7年4月 ～12月	陵南中グラウンド・ 他	3人	1人	月会費 2,000円	技術向上 各種大会参加
寒河江市卓球連盟	市競技団体	卓球	土日1日	日曜 15:00～18:00	3年生：0人 2年生：4人 1年生：2人	令和7年4月 ～12月	陵南中体育館 市民体育館	1人	-	1回 200円	技術向上 各種大会参加
寒河江市剣道連盟 (少年クラブ)	市競技団体	剣道	平日1日 土日1日	木曜日・土曜日 19:00～21:00	3年生：10人 2年生：12人 1年生：10人	令和7年4月 ～12月	寒南小体育館・三 泉小体育館・他 市民体育館	7人	1人	月会費 2,000円	技術向上 中体連参加 各種大会参加
アドバンテージ	民間クラブ	ソフトテニス	平日3日 土日1日	月・水・金 19:00～21:00 土日 3時間程度	3年生：7人 2年生：21人 1年生：20人	令和7年4月 ～12月	市民体育館コート 他	4人	6人	月会費 3,000円	技術向上 各種大会参加 は検討中

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

地域クラブ名	運営団体種別	活動内容(種目)	実施回数	実施時間帯	参加者	実施期間	主な活動場所	指導者数	運営スタッフ数	会費等	指導について
寒河江Jr バスケットボールクラブ	市競技団体	バスケットボール	土日1日	土曜・日曜 9:00～12:00	3年生：0人 2年生：20人 1年生：18人	令和7年4月～ 12月	市内中学校体育館 市民体育館	9人	1人	月会費 3,000円	技術向上 中体連参加無 (部活動への協力)
寒河江SBC	民間クラブ	女子ソフトボール	平日1日 土日1日	木曜 19:00～21:00 土曜または日曜午前	3年生：4人 2年生：5人 1年生：0人	令和7年4月～ 12月	陵西中・陵南中	2人	-	月会費 4,000円	技術向上 各種大会参加
陵武会柔道スポーツ 少年団	スポーツ少年団	柔道 男女	平日2日 土日1日	火・木 20:00～ 21:00 土・日 3時間程度	3年生：3人 2年生：6人 1年生：5人	令和7年4月～ 12月	市民体育館 柔道場	6人	1人	月会費 3,000円	技術向上 各種大会参加
ETジュニア	スポーツ少年団	陸上競技	平日3日 土日1日	火・木 18:00～ 19:00 水 5:30～6:30 土・日 1.5～2時間程度	3年生：4人 2年生：8人 1年生：3人	令和7年4月～ 12月	市民体育館 最上川ふるさと公園	1人	1人	月会費 4,000円	中体連参加 各種大会参加
崇武館寒河江支部	スポーツ少年団	空手	平日2日 土日1日	月・金 19:00～20:30 土曜or日曜 10:00～ 12:00	3年生：1人 2年生：0人 1年生：0人	令和7年4月～ 12月	フローラSAGAE 3F	2人	1人	月会費 3,000円	中体連参加無 各種大会参加有
ノバリア クライミングクラブ	民間クラブ	スポーツ クライミング	土日1日	土曜 18:30～19:30	3年生：0人 2年生：0人 1年生：2人	令和7年4月～ 12月	ノバリア クライミングジム	2人	-	月会費 5,000円	技術向上 中体連参加無 各種大会参加 (検討中)

③その他、体験会やイベント等の開催実績

●なし

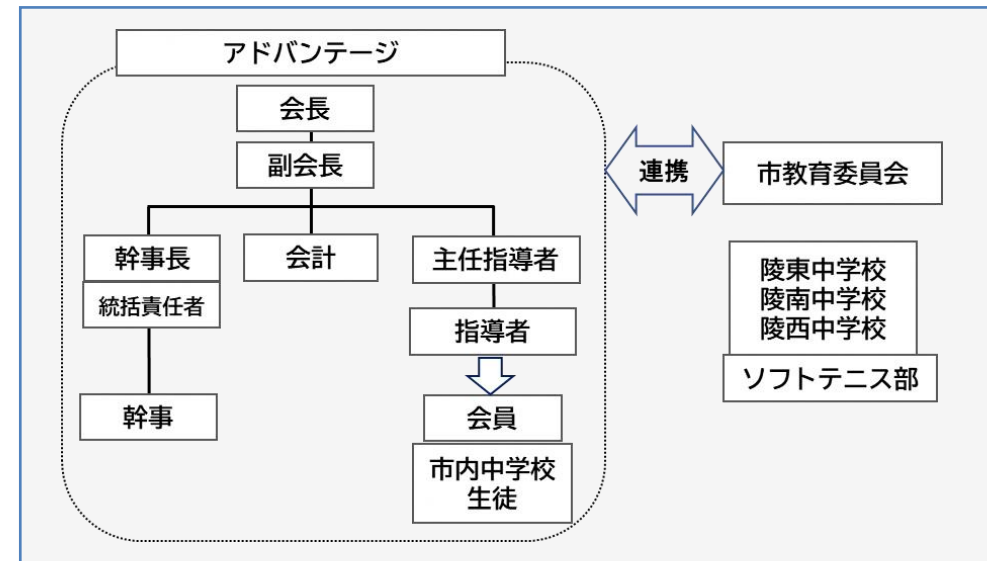
2.実証内容と成果

主な取組例

●アドバンテージ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	アドバンテージ
期間と日数	月12回程度
指導者の主な属性	市ソフトテニス連盟、教員、社会人等
活動場所	市民体育館テニスコート 陵東中学校テニスコート
主な移動手段	徒歩、自転車、車（保護者送迎）
1人あたりの参加会費等（年額）	36,000円（年額）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり： 1,850円/年、1,200円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●会長

役割：アドバンテージの代表。クラブの運営全般を担う。総会の進行を行う。

●統括責任者

役割：クラブの年間計画、会計管理、書類作成、事務全般を行う。

●主任指導者 10名

役割：クラブ員への技術指導。試合の引率、コーチ、大会運営等を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

(1) 地域クラブとの連絡調整
市内各地域クラブと定期的に連絡調整を行い、活動状況および課題の把握を行った。

- ・ 指導者不足に関する情報共有
- ・ 学校施設利用に関する調整
- ・ 学校側の意向・懸念事項の伝達

(2) 学校長・関係機関との検討会議への参画
学校長および市関係部署等が参加する検討会議に出席し、事業の進捗状況および現状課題を報告した。

- ・ 現場の実情を踏まえた課題整理
- ・ 地域展開の今後の在り方について助言

取組の成果

- ・ 教員の部活動指導に係る負担軽減に向けた環境整備が進展した。
- ・ 地域クラブおよび指導者との連携体制が構築された（指導者研修会の広域開催含む）。
- ・ 地域展開に向けた課題が整理・可視化された

今後の取組における課題

- ① 指導者確保および指導力の向上
- ② 財源確保を含めた持続可能な運営体制の構築
- ③ 地域間・クラブ間格差への継続的対応
- ④ 学校・地域・保護者間の部活動の地域展開における合意形成の深化

課題への対応方針

- ・ ①への対応：指導力の向上については、指導者研修会を継続して行う。他町の研修会への参加を促す。
- ・ ②と③への対応：地域間・クラブ間格差については、情報共有を行う。情報の一斉通知、情報交換のための研修会の開催等を検討する。指導者研修会の内容にクラブ運営に関わることを盛り込む。
- ・ ④への対応：部活動改革について、部活動と地域クラブの活動の違い等について、HPを使い、継続して、保護者、市民に発信する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- (1) 研修会の企画・講演
- (2) 教員アンケートの実施・分析
- (3) 地域クラブとの連絡調整
- (4) 地域間格差是正に向けた協議
- (5) 学校長・関係機関との検討会議への参画
- (6) 市内中学校部活動の現状把握

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

(1) 市内各地域クラブと定期的に連絡調整を行い、活動状況および課題の把握を行った。

- ・指導者不足に関する情報共有
- ・学校施設利用に関する調整
- ・学校側の意向・懸念事項の伝達

(2) 寒河江市と近隣他町との間で生じている競技数・指導者数等の地域間格差について、協議および情報交換を行った。

- ・市町を越えた地域クラブの在り方を検討
- ・広域連携の方向性を共有

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- ・練習回数や試合数を調整し、活動計画を適正に作成する。生徒の様子や体調を見て、練習メニューを柔軟に変更する。
- ・ハラスメント防止のために、指導者複数人体制を推奨する。
- ・公正で適切な会計処理を行う。会計を処理しやすいように、エクセルの様式例を配付する。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- ・活動中の事故等について、責任の所在を明確にする。保険加入を必須にする。AEDの使用方法的研修。緊急時の対応マニュアルの整備を義務付ける。
- ・指導者研修会の内容に、ハラスメント防止、中学生に対する具体的な接し方、中学生時期の特有な対応について、いじめの未然防止等の内容を盛り込む。あわせて、具体的な事例の紹介をする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 7月と12月の2回指導者研修会を行った。
- 参加者を寒河江市に限定せずに、近隣の町からの参加も募った。
- 西村山地区部活動改革協議会において協力体制を整えた。
- 研修会の参加者に受講証を発行した。

取組の成果

- 市スポーツ少年団と共催で研修会を開催した。
- 西村山地区部活動改革協議会で協力体制を整えた。西村山地区内での研修会の周知の協力、それぞれの研修会への人的協力、研修会開催にあたって、講師の情報の提供など、少人数で対応している部署ほど負担が軽減できた。
- 上記の取組もあり、他町からも参加があった。

	参加者数	クラブ	備考
第1回	22人	13クラブ	他町からの参加者
第2回	2人（総数37人）	2クラブ	市スポーツ少年団との共催

今後の取組における課題

- ① 実証事業に関わる団体以外の地域クラブの指導者の研修会の参加者を確保すること。
- ② 指導者の質の向上のための研修会の開催について、関係団体の協力をさらに得ること。
- ③ 研修の日程を、参加者が参加しやすいように、研修の日程を午前中のみ、または、午後のみとすると、時間が3時間程度しか取れないため、研修の内容について、精選が必要であること。
- ④ 研修会の受講証を、地域クラブのステータスを高めるための手立てとする方法を検討する。

課題への対応方針

- ①～②への対応：引き続き、関係団体や西村山地区部活動改革協議会のネットワークを生かし呼びかける。
- ③への対応：研修会のテーマを、部活動改革、ハラスメント防止、クラブ運営についてなど、実際に役立つ内容とする方針と共に、参加者の声を生かし柔軟な内容や日程調整を行う。
- ④への対応：クラブの認定要件に研修会の受講を必須とすることや西村山地区部活動改革協議会で作成する地域クラブ一覧に研修会の受講状況を載せるなどを検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

- ・青年会議所に声掛けをして、地域クラブの指導者を募ったり、地域クラブの活動への協力を依頼した。
- ・西村山地区部活動改革協議会の中で、過去の研修会の講師の情報等を共有した。

指導者研修の内容

研修名	第1回寒河江市地域クラブ指導者等研修会 第2回寒河江市地域クラブ指導者等研修会
講師	・南部地区公民館長（元中学校長）横山 和弘氏 ・株式会社モンテディオ山形 クラブコミュニケーター（モンテディオ山形選手）岡崎 建哉 氏 ・寒河江市部活動総括コーディネーター 山口 義博氏 ・西村山行政事務組合消防本部
研修内容	中学生とのかかわり方について ～これまでの体験から指導者の方へのお願い～ 成長期のトレーニングについて ～パフォーマンスを高めるためのトレーニングとは～ これからの学校部活動と地域クラブとのかかわり 普通救命講習 I

指導者研修受講者の声

●参加者の声

参加者①

講師の中学校の教員時代の経験を含めてわかりやすく講義していただいてよかったです。岡崎先生のスポーツ選手としてではなく、人間としての大事なことをたくさん学ぶことができました。

参加者②

講師の向上心、何かをやろうとするマインド、それを持ち続けていらっしゃる姿は大変刺激になった。

参加者③

講師の先生方からの話から、自分の考えを整理することができました。ありがとうございました。

参加者④

大変貴重なお話を聞かせていただき、ありがとうございました。（他4名）

参加者⑤

部活動改革については、分からないことがや曖昧なことが多く、講師から学校部活動と地域クラブのことについて詳しく話してもらい勉強になった。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- 「中学校部活動改革検討委員会」（以下、「検討委員会」という。）を4回開催する。参集メンバーは、市スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会、総合型地域スポーツクラブ、保護者代表、市内中学校長、市教育委員会、総括コーディネーターとなっていて、それぞれの立場から、議題について検討する。
- 会議の内容については、部活動改革の取組状況、学校部活動の加入状況、地域クラブへの加入状況、関係団体による部活動地域展開の取り組み状況などについて検討を重ねた。

取組の成果

- 市スポーツ少年団からの提案により、地域クラブ指導者等研修会と市スポーツ少年団の指導者研修会を重ねて共催の研修会を行った。市スポーツ少年団に関係する指導者や保護者に部活動地域展開について知ってもらえた。
- 市スポーツ協会において、今後、地域クラブの施設利用が増えてくると予想されるため、施設利用の簡易化や減免について話題にしていけることが検討された。

今後の取組における課題

- ① 関係団体が部活動地域展開について、具体的に関わる活動が少ないこと。
- ② 競技団体によって、部活動地域展開への熱量が違うこと。
- ③ 子どもたちの活動の場が十分に保障できるような、地域クラブ数を確保すること。
- ④ 地域クラブ関係者がクラブ運営に役立てられる情報の収集。

課題への対応方針

- ①について：関係団体に地域クラブの活動の意義について理解してもらい、関係団体の行う既存の活動と地域クラブの活動を結び付けられるよう引き続き検討委員会で話題にする。
- ②について：市スポーツ協会に依頼し、現状の把握や部活動地域展開に係る説明の場を設けてもらうよう依頼する。
- ③について：競技団体への呼びかけや保護者会に説明する機会を設け、地域クラブの立ち上げや指導者の発掘についてサポートをする。
- ④について：地域クラブが情報交換ができる場の設定や指導者等研修会の中でグループワーク等を行い情報交換の場を設定する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

西村山地区部活動改革検討協議会（以下「協議会」という。）の開催。
1市4町の教育長が原案について話し合い、協議会を立ち上げ、周り番で協議会の会議を行うこととなった。
学校教育課、スポーツ振興関係課、生涯学習・社会教育関係課の担当者が参加者となる。

取組の成果

- ・ 協議会が主体となり、西村山地区で活動する地域クラブの一覧表を作成した。
- ・ 地域クラブは、市の生徒のみならず、他町の生徒も受け入れられるよう確認を取った。
- ・ 指導者研修会を西村山地区部活動改革協議会と共催で開催し、本市の指導者研修会に他町の担当者がスタッフとして参加した。
- ・ 本市事務局も他町の研修会にスタッフとして協力した。
- ・ 協議会担当者が連絡を取り合い、開催日程や講師の情報、研修会の運営の仕方について情報交換を行った。
- ・ 次年度以降も継続して、協議会を定期開催していくことの確認。

今後の取組における課題

- ① 複数の市町の生徒が参加する地域クラブに対して、公共施設の使用料の減免の取り扱いについて足並みがそろえづらい。
- ② 複数の市町の生徒が参加する地域クラブの場合の練習場所への移動手段の確保、移動時間の制限等がある。また、平日の練習場所の確保が難しい。
- ③ 指導者の確保、参加者数の把握等の課題があるため、新規の地域クラブの立ち上げは難しい。

課題への対応方針

- ・ ①について：町の規定等で柔軟な対応があるが、市としての対応に難しさがある。地域クラブに所属する市民の数や地域クラブの定義等を理解するのに時間がかかり検討中である。
- ・ ②について：実際、平日に複数の市町の生徒が合同で練習することは難しい。
- ・ ③について：新規クラブを立ち上げたいという声があれば、市教育委員会に対応する。また、部活動の受け皿がない種目については、指導者の確保等サポートも行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
工：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 工：面的・広域的な取組

市区町村等を越えた取組

- 西村山地区部活動改革協議会が立ち上がり、部活動に関わる事項を地区全体で検討する場を設けた。
- 協議会の中で、地区内の生徒を受け入れる体制が整った地域クラブ一覧表を作成し、新入生オリエンテーション等で紹介した。

西村山地区内の中학생受け入れ可能地域クラブ一覧（2026年1月現在）

この情報は、西村山地区内のスポーツクラブ等での活動を希望する中学生のために、「西村山全域から受け入れ可能な新しいクラブ」や、「新たに西村山全域から受け入れを行うようにしたクラブ」の情報を、西村山1市4町の教育委員会が構成する西村山地区部活動改革協議会が取りまとめたものです。
※ 各市・町限定で活動しているクラブや、既に広く認知されている民間のスポーツクラブ（スイミング等）の情報は収録していません。
掲載されたクラブで活動希望する人は、希望するクラブの連絡先で詳細を確認し、各クラブ毎に必要な手続きを行い、自分のやりたいスポーツを楽しんでください。
なお、これから新たに生まれるクラブに対応するために、情報は今後適宜更新していきます。次回更新は、2026年3月の予定です。

No.	地域クラブ名	活動内容(種目)	代表者	連絡先	指導について	会費等	参加対象	活動日	主な活動場所	備考
1	寒河江市ベースボールクラブ	軟式野球			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：1ヶ月ごと	寒河江市・西村山地区中学生	土曜日は18:00～21:00 日曜日は10:00～13:00	寒河江市グラウンド・他	
2	寒河江市卓球連盟	卓球			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：1回ごと	寒河江市・西村山地区中学生	土曜日は18:00～21:00 日曜日は10:00～13:00	寒河江市体育館 市立体育館	
3	寒河江市剣道連盟(少年クラブ)	剣道			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：年1回ごと	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	寒河江市体育館 市立体育館	
4	アドバンテージ	ソフトテニス			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：1ヶ月ごと	寒河江市・西村山地区中学生	月・水・金 18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館コート棟	
5	寒河江市バスケットボールクラブ	バスケットボール			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：1ヶ月ごと	寒河江市・西村山地区中学生	土曜日は18:00～21:00 日曜日は10:00～13:00	市内小学校体育館 市立体育館	
6	寒河江市SBC	女子ソフトボール			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：年1回	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	
7	寒河江市空手道支部	空手			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：1ヶ月ごと	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	
8	寒河江市JAC	陸上競技			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：年1回	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	
9	E.Tジュニア	陸上競技			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：1ヶ月ごと	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	
10	フリアス	スノーボード			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：1ヶ月ごと	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	
11	スノーボード少年団	スノーボード			指導員：各クラブ会費あり	会費あり：年1回	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	
12	カルティーンカホク	サッカー			指導員：各クラブ会費あり	会費あり	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	
13	北友会JUNIOR	バレーボール(男・女一都)			指導員：各クラブ会費あり	会費あり	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	
14	VC西村山	バレーボール			指導員：各クラブ会費あり	会費あり	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	
15	大正ソフトボールクラブ	ソフトボール			指導員：各クラブ会費あり	会費あり	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	
16	OSC-Jeバド	バドミントン			指導員：各クラブ会費あり	会費あり	寒河江市・西村山地区中学生	水曜日は18:00～21:00 土曜日は10:00～13:00	市立体育館	

第2回 西村山地区部活動改革協議会 出席者名簿

No.	役職名	氏名	備考
1	寒河江市教育委員会 学校教育課 学校再編整備室長補佐(兼)指導主事		
2	寒河江市教育委員会 部活動総括コーディネーター		
3	河北町教育委員会 生涯学習課 総括主任		
4	河北町教育委員会 生涯学習課 部活動地域以降コーディネーター		
5	朝日町教育委員会 生涯学習課 生涯学習係長		
6	大江町教育委員会 教育文化課 スポーツ振興係長		
7	西川町教育委員会 教育長		
8	西川町教育委員会 まなぶ課 課長		
9	西川町教育委員会 まなぶ課 まなぶ係長		
10	西川町教育委員会 まなぶ課 まなぶ係 主事		

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

部活動改革に取り組み4年目となった。部活動改革の周知に努めていたところは状況がかなり変わってきている。寒河江市では、令和7年7月以降は、中学校の休日の部活動は行わないと方針を定めていた。その期限に向けて、学校部活動・地域クラブの両関係者が調整を図って準備をしてきた。

特に、地域クラブの関係者の意識が高まり、学校部活動の半数の種目が休日の活動の場として地域クラブで活動できるようになった。

部活動改革は、全国的な展開であるため、特に地区で足並みをそろえる必要があった。今年度は西村山地区部活動改革協議会が立ち上がり、方針の確認や課題の共有等部活動地域展開を一步進めることができた。

それに伴い、指導者の資質向上のための指導者研修会については、市と西村山地区部活動改革協議会の共催もすることができた。

また、実証事業を行い、部活動総括コーディネーターによる丁寧な聞き取りにより、地域クラブの運営状況について詳しく情報を収集することができた。それにより、複数指導者の配置、事務作業に慣れた事務局員の配置、参加者に関わる運営費の確保が課題として見えてきた。

●成果の評価

- ・ 部活動・地域クラブの両指導者の連携が取れている種目がある。
- ・ 部活動と地域クラブの関わりについて、部活動総括コーディネーターにより、調整を図ることができた。
- ・ 関係団体との協力が進み、今年度は市スポーツ少年団との共催で指導者研修会を開催することができた。
- ・ 西村山地区部活動改革協議会が立ち上がり、広域での部活動改革の展開を進めることができた。
- ・ 休日の活動先がない部活動の種目について、地域クラブの設置を模索する必要がある。
- ・ 関係団体（特に市スポーツ協会）と連携し、施設予約の減免やスムーズな施設利用について検討を継続する。

●今後に向けて

- ・ (名称の変更も視野に入れた)検討委員会を継続して、関係団体を巻き込んだ部活動地域展開の具体的な取り組みについて検討をする。
- ・ 西村山地区部活動改革協議会で課題を共有し、新たな地域クラブの立ち上げや西村山地区で活動する地域クラブの把握と地域クラブ一覧表の作成を継続する。
- ・ 上記の地域クラブが公共の施設を使用する際の減免について、全ての市町で足並みがそろえられるように検討する。
- ・ 部活動にあるすべての種目について受け皿となる地域クラブの創出を進める。

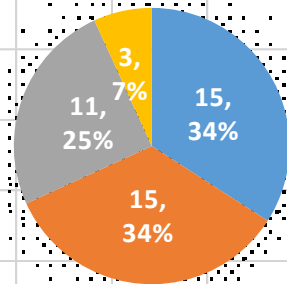
2.実証内容と成果②

アンケート結果（生徒の回答）

●アンケート結果 生徒の回答

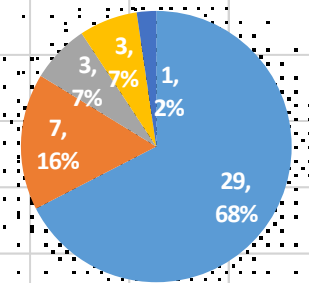
4月から12月の活動に対する満足度を教えてください。

①とても満足	15
②満足	15
③普通（いつもと変わらない）	11
④不満	3
⑤とても不満	0



今後も現在加入している地域クラブでの活動に参加したいですか。

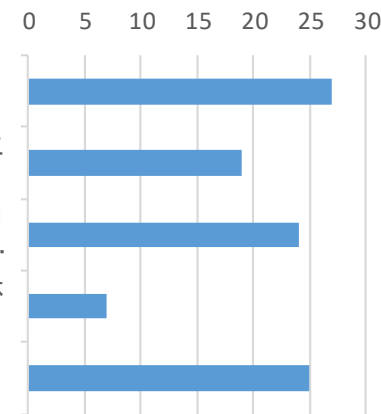
①そう思う	29
②ややそう思う	7
③どちらでもない	3
④あまり思わない	3
⑤まったく思わない	1



地域クラブ活動に参加してよかったと思うことは何ですか。（複数回答）

①練習する時間が増えた。	27
②より専門的な指導を受けることができた。	19
③いろいろな大会に参加し、自分のレベルを高めることができた。	24
④いろいろな競技や種目を体験することができた。	7
⑤親しい仲間ができた。	25

- ①練習する時間が増えた。
- ②より専門的な指導を受けることができた。
- ③いろいろな大会に参加し、自分のレベルを高めることができた。
- ④いろいろな競技や種目を体験することができた。
- ⑤親しい仲間ができた。

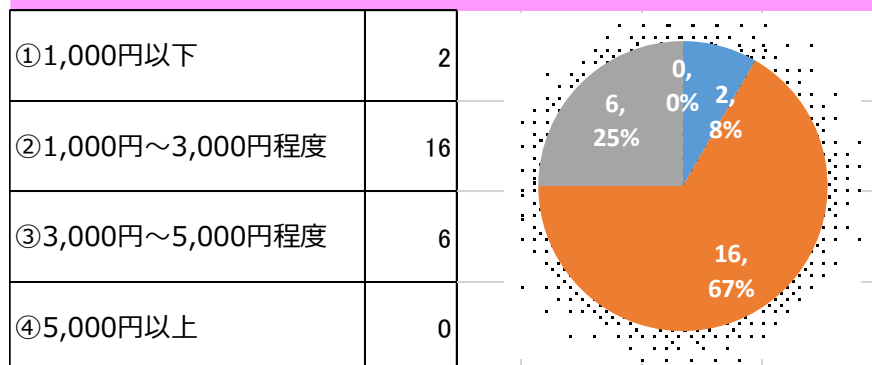


2.実証内容と成果②

アンケート結果（地域クラブ関係者の回答）

●アンケート結果 地域クラブ関係者の回答

月の会費は、一人当たりいくらぐらい必要だと考えますか。



地域クラブ活動を進める上で、課題と思われることを教えてください。（複数回答）



アンケート結果・参加者/関係者の声

●生徒の声

生徒①

コーチとか友達と仲良く柔道できるところがすごく嬉しいです。日頃からコーチにはお世話になって優しく指導してくれて嬉しく思っています。

生徒②

学校が違い会えない日があるけれど1日1日の練習が充実している。先生にはとても感謝している。

生徒③

僕は新しい仲間や先輩と関わることが嬉しいです。優しいコーチにいろんな技を教えてもらったり、技術を教えてもらったり楽しいです。

参加者④

できることが増えたからよかった。

参加者⑤

もっと実践練習を増やしてほしい。

参加者⑥

開始がはやくて宿題などの時間がない。

●地域クラブ関係者の声

地域クラブ関係者①

各種大会の案内は学校にメールで届くため顧問の先生との連絡を密にしないとタイミングを逃してしまう恐れがあります。子供達の為にも学校間との連絡がスムーズにし、有意義な活動になればと思います。

地域クラブ関係者②

各クラブの月謝をある程度揃えておかないと保護者の不満等につながると感じました。中体連の大会に各校の部活動から参加するとなると顧問との連携も必要になり調整する必要が出てくるので様々な課題があると感じました。

地域クラブ関係者③

大変有意義でした。生徒の競技力も上がりました。

地域クラブ関係者④

複数の学校の生徒が参加してくれたのも良かったです。

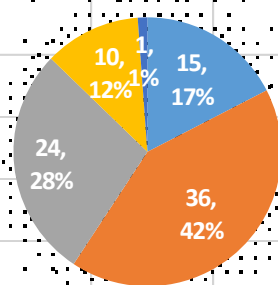
2.実証内容と成果②

アンケート結果（保護者の回答）

●アンケート結果 保護者の回答

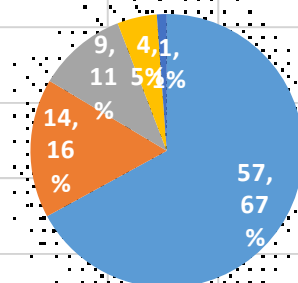
4月から12月の活動に対する満足度を教えてください。

①とても満足	15
②満足	36
③普通（いつもと変わらない）	24
④不満	10
⑤とても不満	1



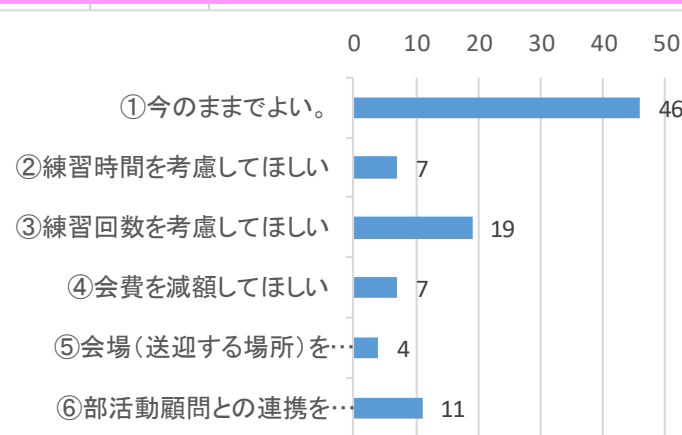
今後お子さんを地域クラブでの活動に参加させたいですか。

①そう思う	57
②ややそう思う	14
③どちらでもない	9
④あまり思わない	4
⑤まったく思わない	1



改善ほしいと思われることに印をつけてください。（複数回答）

①今のままでよい。	46
②練習時間を考慮してほしい	7
③練習回数を考慮してほしい	19
④会費を減額してほしい	7
⑤会場（送迎する場所）を考慮してほしい	4
⑥部活動顧問との連携を図ってほしい	11



アンケート結果・参加者/関係者の声

●保護者の声

保護者関係者①

学校の先生が、指導者として教えていただけるので、地域クラブとは言え、時間や場所的にも大変恵まれているかなと感じています。

保護者関係者①

手探り状態で始まった地域クラブ化で何をするにも戸惑いが多かったように思いますが、今は単純に子供達に活動の機会を増やしてもらっていることをありがたく思います。

保護者関係者①

家庭の時間をさいてまでご指導くださる先生、また、保護者会代表の親御さんには感謝しかありません。クラブに参加させて頂いて本当に良かったです。

保護者関係者①

自由参加とは承知しておりますが、部活動からの延長で活動している以上、自分の子どもだけがクラブ活動には参加しませんよというのは、なかなか出来ない現実があるということも理解していただきたいです。

保護者関係者①

コーチから挨拶や態度など基本的なところを注意されることも大事な事だと思います。クラブ活動により練習時間や他校の人とも交流する機会が増えたのはありがたいと思います。

保護者関係者①

生徒の自主性を重んじているように感じますが、人手不足な所を感じる事も多々あります。子供達の安全を第一に練習に関しては何か起きてからでは大変なので大人の目を増やす等考えていただければと思います。

保護者関係者①

できるだけ平日もクラブに参加させたいですが、送迎できるのが親一人だけで他に協力を頼める者がいない為、行けないことも多いです。クラブで頑張ってく欲しいのはやまやまですが、クラブで活動するにも親の仕事や家庭環境の影響は大きいと感じます。

2.実証内容と成果③

参考資料



【寒河江SBC 複数校の合同チーム】



【寒河江ベースボールクラブ 3校の違ったユニフォーム】



【崇武館寒河江支部 大会出場】



【寒河江Jrバスケットボールクラブ 体育館での練習】

2.実証内容と成果③

参考資料



【寒河江市剣道連盟 小学校体育館での練習】



【ETジュニア 体育館ランニングコース周回】



【アドバンテージ 夜間練習】



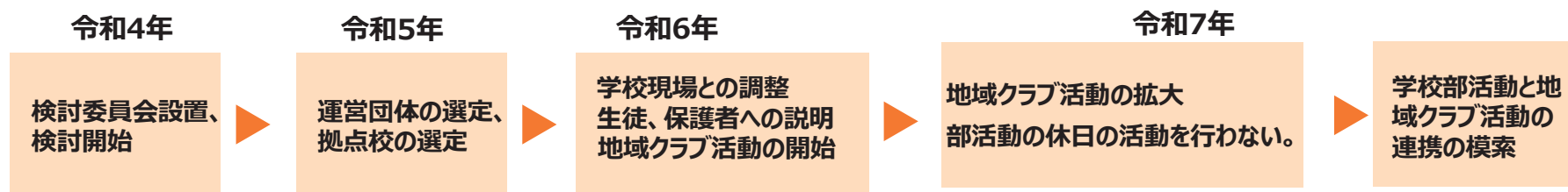
【ノバリアクライミングクラブ ジムでの練習】



【寒河江市卓球連盟 体育館での練習】

2.実証内容と成果⑤

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員会、総合型地域スポーツクラブ、保護者代表、市教育委員会、総括コーディネーター

経過

令和4年度より検討委員会を設置し、部活動の地域移行についての話し合いを持った。当初は、「地域移行」という文言に抵抗があり、理解が進まなかった。

令和5年度に「寒河江市における部活動改革のガイドライン」の策定のために、関係団体から意見の聞き取りをした。先進地の事例をもとに、寒河江市に合った地域移行について話し合いを進め、具体的な事例から検討できるよう、令和6年度から実証事業を開始する。

令和6年度は、地域クラブと総括コーディネーターとの面談を行い、運営の現状や運営において課題となる点についての聞き取りを行った。

実施内容

令和5年7月から市内全ての中学校の休日の部活動を段階的に縮小していった。地域クラブでの活動は、任意で行われた。令和7年7月からは、市内全ての中学校において、休日の活動は行っていない。各地域クラブは、生徒の休日の活動場所を確保できるように進めている。

実施にあたって生じた課題

休日のクラブ活動においては、指導者の確保や会場の確保が課題として挙げられた。また、受益者負担については、保護者としては、部活動の会費と比べ割高感があるという意見がある。また、部活動と比べ、指導者が必ず決まった曜日に決まった時間に参加できる状態ではないため、練習自体について不満の声も聞かれる。

指導者の確保の面で、地域クラブの指導者をスポーツ協会や競技団体に継続して相談しているが、**休日に時間を取って指導ができる指導者を確保することは困難な状況である。また、競技により地域クラブに対する姿勢は異なり、温度差を感じる**

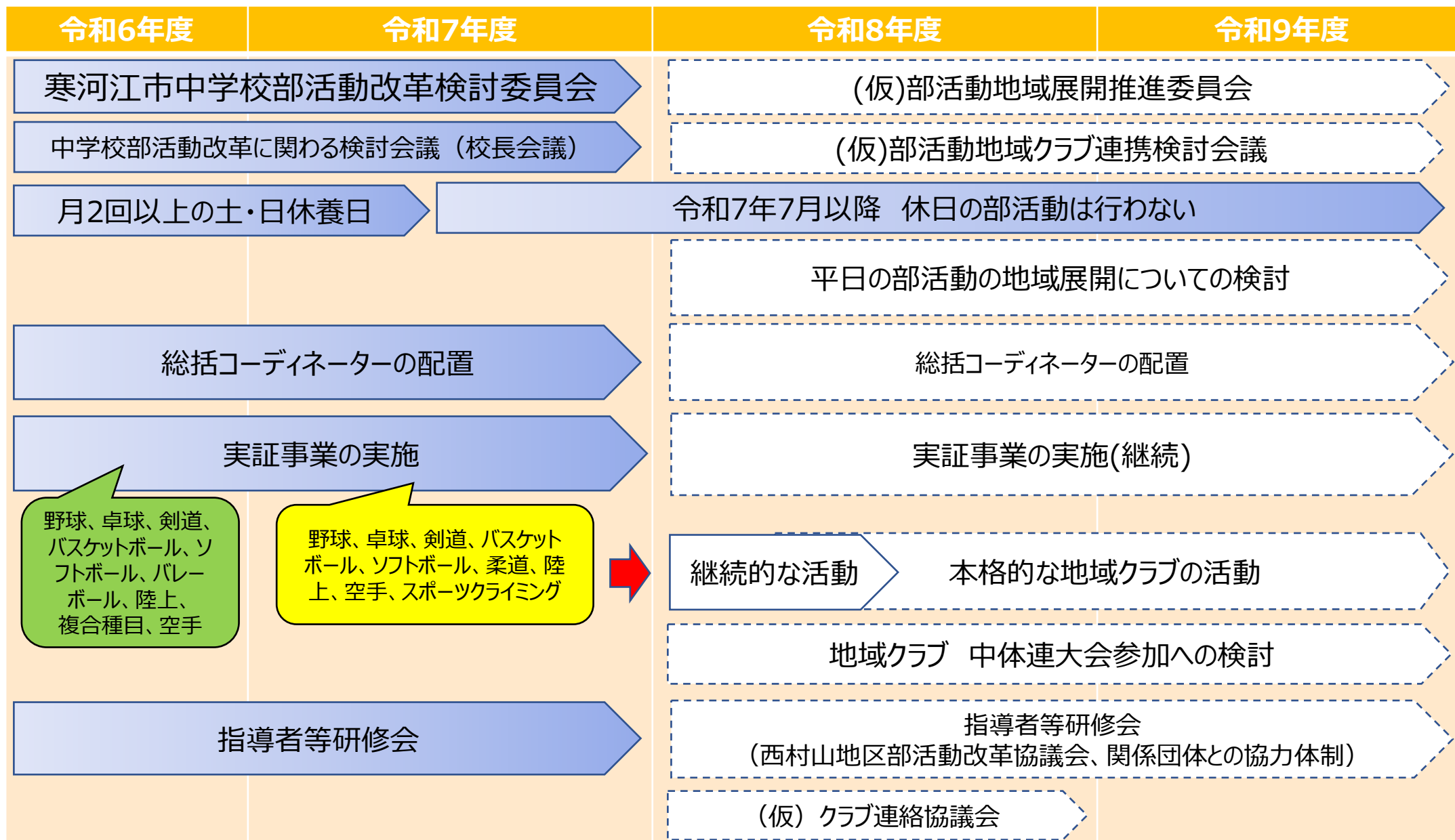
今後の展開

令和8年度は、本格的に休日の部活動がない世代となる。休日の活動の場の確保と共に、参加者の確保も課題として見える。そのためには、部活動と地域クラブの連携を確かなものにしたたり、市だけではなく、地域として、休日の生徒の活動の場を確保していくことも必要だと考える。これからも**競技団体への説明を繰り返し行い、生徒を地域とともに支える意識の醸成を図る。**

また、西村山地区部活動改革協議会と連携して作成した地域クラブの情報等を、市のHPや市で運用している「さくら連絡網」でチラシや活動紹介等を行い、地域クラブへの理解を得られるように努める。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

山形県上山市

自治体名： 山形県上山市

担当課名： 教育委員会生涯学習課

電話番号： 023-672-1111

1.自治体の基本情報

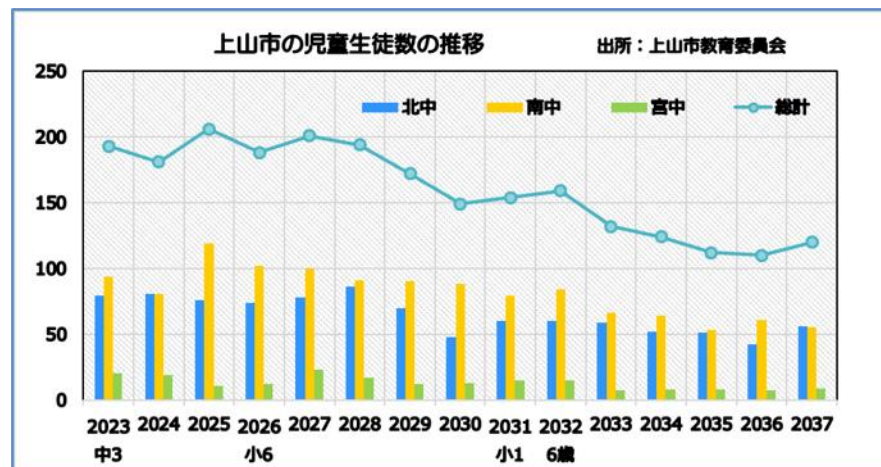
基本情報

面積	240.93km ²
人口	26,907人 (令和8年1月31日)
公立中学校数	4校
公立中学校生徒数	574人
部活動数 (運動部活動のみ)	23部活
地域クラブ活動数	8クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

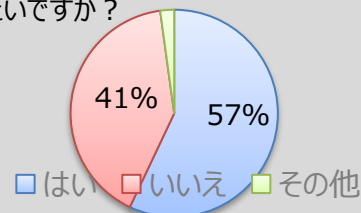
地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

本市は、少子化による人口減の影響を受け、児童生徒数の減少（グラフ1）が著しく進行している。部活動における、任意加入が2年目となり、運動部への所属は減少し、文化部への所属は維持されている現状である。人口減の影響は、個人競技では少ないが、団体競技での練習や大会参加には大きな影響がある。「休日に活動したい中学生がたくさんいる」「平日と同じ活動をしたいけど受け皿がない」（令和6年調査、グラフ2・3）という現状を打開する必要に迫られている。

グラフ1

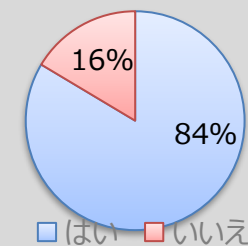


今後休日（土・日曜）の部活動がなくなった場合、休日に活動できる環境（地域クラブ等）があれば、休日もそこで活動したいですか？



グラフ2

休日の活動も平日の部活動と同じものを選びますか？

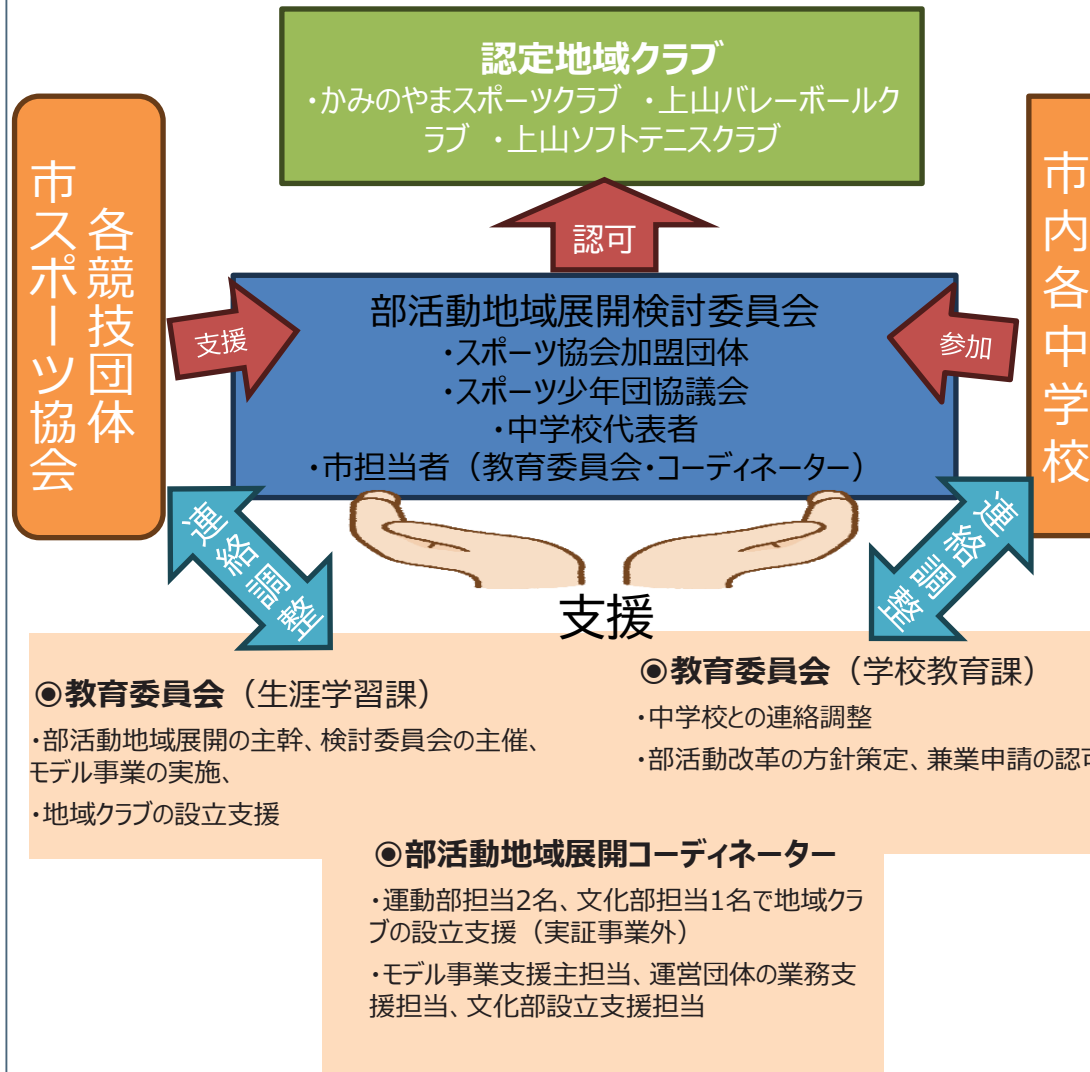


グラフ3

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



年間の事業スケジュール

令和7年4月	モデル事業クラブとの打ち合わせ
令和7年5月	部活動体験活動実施
令和7年6月	第1回部活動地域展開検討会 モデル事業開始
令和7年8月	地域クラブ設立相談会
令和7年9月	〃
令和7年10月	地域クラブ認定、クラブ運営試験開始 コミュニケーションアプリ試験導入
令和7年12月	2モデルクラブ事業終了
令和8年1月	1モデルクラブ事業終了 認定地域クラブ設立説明会 モデルクラブアンケート実施
令和8年2月	モデルクラブ事業完了検査 認定地域クラブ設立申請受付開始
令和8年3月	第2回部活動地域展開検討会

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		3クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）	2クラブ（4部活動）	
	B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数	1クラブ	
全体の指導者数	15人	全体の運営スタッフ数	9人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
上山バレーボールクラブ	地域スポーツ団体	バレーボール	・平日 1回 ・休日 1回	19:00～20:30 13:00～16:00	1年 3名 2年 7名 3年 9名	5月～3月	6人	3人 (内、兼務0人)	1,500円/月額	クラブとしては無し
上山ソフトテニスクラブ	地域スポーツ団体	ソフトテニス	・休日 1回	7:00～9:00または 9:00～11:00	1年 19名 2年 17名 3年 0名	6月～3月	6人	2人 (内、兼務0人)	1,000円/月額	クラブとしては無し
かみのやまスポーツクラブ	特定非営利活動法人	マルチスポーツ・クラブ運営	・休日 不定期	2時間～3時間	中学生	5月～1月	専従3人 臨時15名	4人 (内、兼務3人)	都度徴収など	クラブとしては無し

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 上記上山スポーツクラブが運営主体となって、右記のような活動を実施した。（中学生向け部活動体験会・ゴルフ体験教室・フィジカルトレーニング研修会）
- 上記上山スポーツクラブが他地域クラブの統括を業務とするために、右記に試験的に取組んだ。（部活動をサポートする業務・事務代行の仕組みづくり）

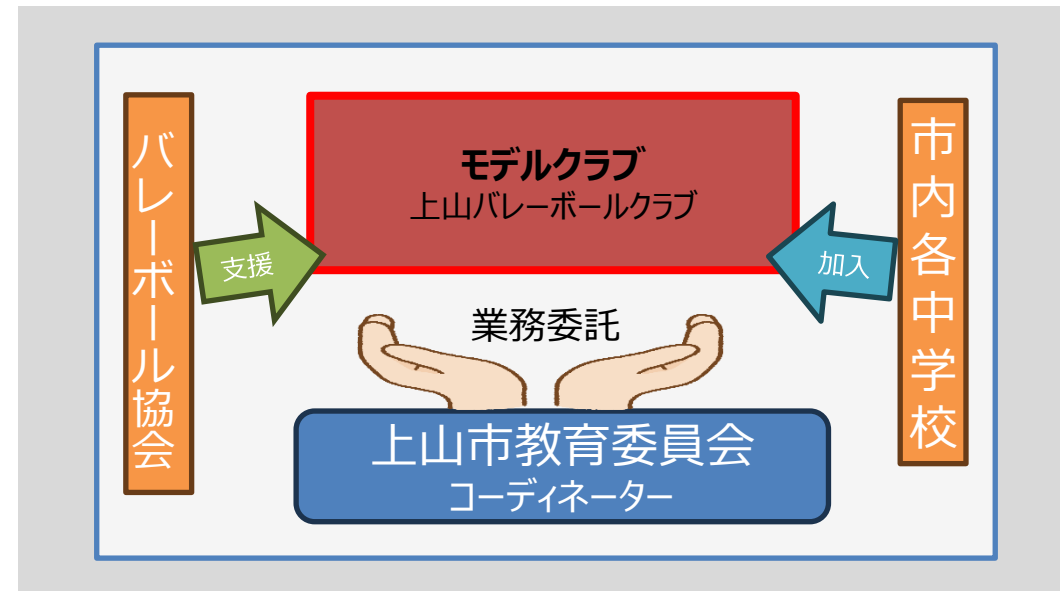
2.実証内容と成果

主な取組例

●上山バレーボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	上山バレーボールクラブ
期間と日数	平日1回/週 休日1回/週
指導者の主な属性	上山バレーボール協会所属
活動場所	上山明新館高校・南部体育館
主な移動手段	保護者の送迎・自転車
1人あたりの参加会費等（月額）	1,500円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●自治体

役割：コーディネーターを中心にクラブ設立の支援・事業の証憑準備の支援を行う

●運営事務責任者

役割：地域クラブ設立事務、会務、会計処理を行う

●指導者 6名

役割：中学生の指導、参加する小学生の世話を行う

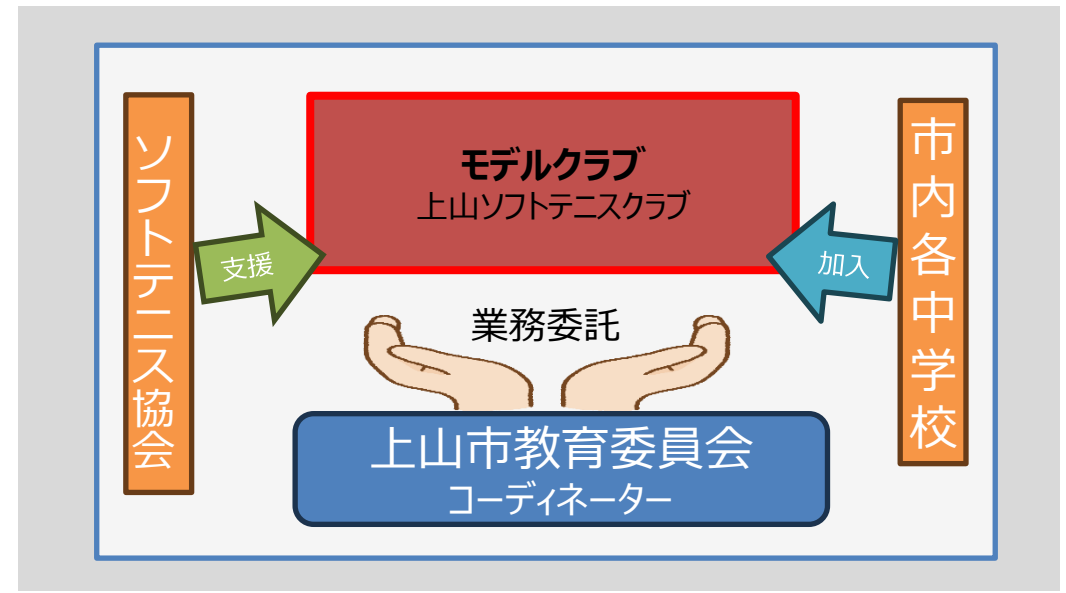
2.実証内容と成果

主な取組例

● 上山ソフトテニスクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトテニス
運営団体名	上山ソフトテニスクラブ
期間と日数	休日1回/週
指導者の主な属性	上山ソフトテニス協会所属
活動場所	体文センターテニスコート
主な移動手段	保護者の送迎・自転車
1人あたりの参加会費等 (月額)	1,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年

● 地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



● 指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 自治体
役割：コーディネーターを中心にクラブ設立の支援・事業の証憑準備の支援を行う
- 運営事務責任者
役割：地域クラブ設立事務、会務、会計処理を行う
- 指導者 6名
役割：中学生の指導

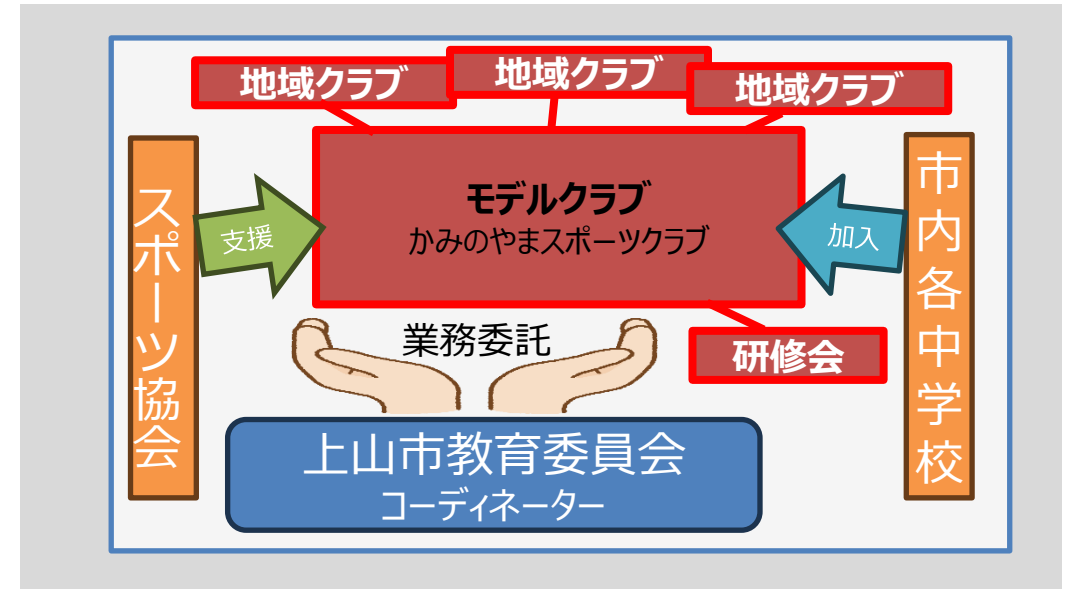
2.実証内容と成果

主な取組例

●かみのやまスポーツクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	マルチスポーツ・クラブ運営
運営団体名	かみのやまスポーツクラブ
期間と日数	適時・不定期開催
指導者の主な属性	特定非営利活動法人
活動場所	基本は体文センター
主な移動手段	保護者の送迎・自転車
1人あたりの参加会費等 (月額)	都度徴収
1人あたりの保険料	イベント保険一人20円(日額)

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●自治体

役割：コーディネーターを中心に他クラブの支援をしたり、事務軽減を図る仕組みづくりの助言・事業の証憑準備の支援を行う。

●事務責任者

役割：他地域クラブの事務を請け負うシステムづくり、クラブの会務、会計処理を行う

●指導者 6名

役割：中学生の指導と中学生が運動に親しむ土壌づくりと地域の指導者の資質向上につながる研修会の開催を企画する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

ア 現状の課題、方策等を主体的に推進する体制を整備するため、上山市は今後も引き続きコーディネーターを中心として調整を行っていく。検討会、分科会なども継続して開催する。

イ 生徒や保護者への説明も、PTA総会などの学校行事の際に行い、理解してもらえるように努める。

ウ スポーツ団体が受け皿となるための障害を解決していくため、上山市はこれまでとは別種目の2団体でモデル事業の実証事業を実施し、実情を正確に把握するとともに、アンケート調査なども行い、方策等を検討する。

エ スポーツ団体が受け皿として運営しやすくなるように、上山市では総合型地域スポーツクラブを中心として、その傘下に各クラブを登録する形態の地域クラブ組織を整える。

入会、会場予約、指導者の手配、会費徴収などの共通する事務手続きを総合型地域スポーツクラブが一手に担うため、各団体は生徒達の指導に集中できるようにしていく。

令和7年度は市のコーディネーターと総合型地域スポーツクラブで協力して地域クラブ組織への登録に必要な条件の検討、10月～1月は試験期間として2種目以上の地域クラブを仮登録し、実際に運営業務の一部（練習日程調整・連絡（連絡アプリの運用）、会費徴収、指導謝金支払い、保険加入など）を行い、クラブ組織化の課題抽出を行う。

取組の成果

ア スポーツ担当の部活動地域展開総括コーディネーターを配置し、地域の団体との連絡調整にあたった。相談会2回、検討委員会2回、説明会2回開催できた。

イ 新入学生オリエンテーションの機会に、広報ちらしを配付できた。

ウ バレーボール種目のクラブとソフトテニス種目のクラブの2クラブをモデル実証事業として指定し、実証的に実施できた。

エ かみのやまスポーツクラブを運営団体に指定し、運営団体の仕組みづくりと、マルチスポーツのスポーツ教室実施、指導者の資質向上につながる研修会を実施できた。コミュニケーションツールの導入を準備した。

今後の取組における課題

イ 中学校、誰がどんな立場で直接説明するのかは、決められずに過ぎた。

エ 運営団体の職務内容と職務の範囲は未確定であり、戸惑うことがあった。コミュニケーションアプリが、使いづらいの声があった。

課題への対応方針

イ 地域展開の広報活動の在り方を見直す。

エ 今年度の運営団体の職務の実態を検証し、市と運営団体の役割を見直す。コミュニケーションアプリの機種を見直す。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ア 地域クラブ設立・モデル事業担当総括コーディネーター
 - ・行政、学校、関係団体との情報共有と連絡調整
 - ・モデル事業の推進、運営と会計への助言、証憑の集約
 - ・地域クラブの承認システムの構築、認定地域クラブ設置要綱案の策定
 - ・相談会、説明会、検討会などの企画
- イ 運営団体担当総括コーディネーター
 - ・運営団体の職務のサポート、職務内容の検討
 - ・コミュニケーションアプリ導入の検討
 - ・学校、社会体育施設、地域クラブのスケジュール管理
 - ・運営団体と地域クラブの円滑な橋渡し

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

- ・地域クラブを統括する運営団体を立ち上げ、10月より試験的運用をおこなった。
- ・運営団体は、地域クラブの事務手続きを代行し、月謝の集金、指導者への謝金給付と源泉徴収、施設の代理予約、市からの補助金の代理受領、コミュニケーションアプリの運用、HPの作成など、効率的で効果的な事務を実施できた。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

- ・地域クラブ設立申請時に、ガバナンス関係のチェックリスト提出を必須とし、一定の基準を満たした団体を認めている。
- ・モデルクラブの会計では、適時面談を行い、中間検査と完了検査を通して、適正な予算執行を助言した。

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

- ・クラブでの事件事故は、実施主体の責任となることを確認した。
- ・緊急連絡先を記入した調書を提出させている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

ア 謝金の設定 生徒たちがより良い指導を受けられるように、指導者への謝金を設定する。モデル事業の中で、会費と謝金を含む経費のバランスを検討する。

イ スポーツ協会との連携 指導者が足りない場合、スポーツ協会へ指導者の紹介を依頼する。

ウ 高等学校との連携 高等学校と合同練習会を開催することで、よりレベルの高い練習機会が期待される。

エ 地域クラブ活動に参加した生徒、保護者、指導者へアンケートを実施することで、課題の抽出と、改善を行う。

オ 指導者を対象とした研修会を開催または紹介し、資格取得促進や指導者の質の保障への検討を進める。

取組の成果

ア モデルクラブでは、時間給としての謝金設定と、月ごとの謝金設定を行った。他の地域クラブは、月謝と謝金のバランスをとりながら金額の設定を行った。

イ スポーツ協会所属の競技団体と、相談会や説明会を通して、クラブの設立や指導者の確保について面談を実施できた。

ウ バレーボールにおいて、高等学校のバレーボール部員との交流があった。

エ モデルクラブ所属の中学生・保護者・指導者へのアンケートを実施できた。

オ 運営団体が主催する、外部講師を迎えての、ハラスメント研修会を実施し、指導者の資質向上を図った。

今後の取組における課題

ア 持続可能なクラブ運営のためには、ゼロとしない月謝と謝金のバランスを考えた金額設定が必要であるが、将来の見通しが持てずに金額設定を躊躇する。

イ 休日ひいては平日の指導者確保は、協会や競技団体への依頼だけでは解決できない感が否めない。

ウ 理想は高く持つべきだが、まだ足元を固める時期だと考える。

課題への対応方針

ア 補助金に左右されない、団体の独立採算が望ましいが、謝金ゼロの部活動から、月謝徴収の必要性を理解する地域の意識の醸成。

イ 軌道に乗るまでは、指導者謝金支出の裏付けとなる、自主財源外の公的な財源確保が必要である。

ウ レベルアップは二の次にして、持続可能な受け皿づくりに焦点化する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

ア 運営団体が主催した研修会の実施

- ①フィジカルトレーニング研修会（上山バスケットボールクラブ対象）
- ②ハラスメント研修会（地域クラブ指導者など対象）
- ③指導者実技講習会（地域クラブ指導者など対象）

指導者研修の内容

研修名	①種目別フィジカルトレーニング教室
講師	山形県トレーナー協会 穂積隆史 氏
研修内容	対象：上山バスケットボールクラブ所属の指導者・中学生 内容： ・筋力強化の基礎 ・バスケットに適したトレーニング ・器具を使ったトレーニング 等
研修名	②発達段階におけるスポーツ指導とハラスメントのない環境づくり
講師	山形県スポーツ指導者協議会 堀江昭弘 氏
研修内容	対象：上山市内の地域クラブの指導者など 内容： ・発育・発達の特性と発達段階の差異 ・トレーニングの原理・原則 ・体罰にあてはまる具体例と実態 ・指導力の向上に向けて

研修名	③中学生世代が起こしやすいケガとその予防
講師	アスレチックトレーナー 富樫弘人 氏
研修内容	対象：上山市内の地域クラブの指導者など 内容： ・障害と外傷の違い ・スポーツ障害の事例研究 ・ストレッチとエクササイズの改善事例 ・テーピング実技

指導者研修受講者の声

●参加者の声

参加者①

「中学生に必要な筋力強化について、わかりやすくご指導いただきました。特に、バスケットボールに特化したトレーニングは継続的に行うことでプレーの幅を広めることにつながることを聞き、子どもたちも期待しながら今も取組んでいます。」

参加者②

「発達の特性が再確認できました。小学生から中学生へかけての年代に、様々な能力が急激に伸びることがわかり、大切な時期だと感じました。言葉も暴力も、体罰は厳禁だと思います。」

参加者③

「中学生が起こしやすい障害について、詳しく教えていただきました。Miss Useという言葉では、根本的な改善が必要な間違った認識への注意喚起があり、今後役に立てていきます。」

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

ア 総合型地域スポーツクラブとの連携 スポーツ団体が受け皿として運営しやすくなるように、上山市では総合型地域スポーツクラブを運営団体として、その傘下に各クラブを登録する形態を整える。

入会、会場予約、会費徴収などの共通する事務手続きを総合型地域スポーツクラブが一手に担い、各団体は生徒達の指導に注力できるようにしていく。

令和7年度は市のコーディネーターと総合型地域スポーツクラブで協力してクラブ登録に必要な条件の検討、10月～1月は試験期間として2種目以上の地域クラブを仮登録し、実際に運営業務の一部（練習日程調整・連絡（連絡アプリの運用）、会費徴収、指導謝金支払い、保険加入など）を総合型地域スポーツクラブが行い、クラブ組織化の課題解決を行う。

イ スポーツ協会との連携 指導者が足りない場合など、スポーツ協会に協力してもらい、指導者を確保する。

ウ 高等学校との連携 上山市内に位置する県立明新館高等学校と連携して、合同練習会の開催、設備の借用などを行う。

取組の成果

ア 特定非営利活動法人かみのやまスポーツクラブに、市で唯一の運営団体として業務委託を行い、運営業務を代行する仕組みを実証的に検証した。

イ 本市の状況から、スポーツ協会への指導者紹介の願いは、ほぼ行っていない。

ウ 前年度までに設備の借用申請が必要で、具体的にはバレーボールクラブのみ練習時の交流と体育館借用があった。

今後の取組における課題

イ スポーツ協会と競技団体との十分な連携が必要なことは論を待たないが、実働的な土日そして平日の指導や運営に携われる人材確保の依頼は非常に難しい。

協会と競技団体の人的余裕がないこと、中学校部活動に替わり定期的にかつ持続的に指導にあたる職責のハードルは極めて高い。

課題への対応方針

イ 中学校部活動に替わり定期的にかつ持続的に指導にあたる指導者の確保の裏付けとなる謝金の確保を、クラブの独立採算制に頼るのは時期尚早であり、国・県・市の余裕を持った支援があつてこそである。

スポーツ協会と競技団体との連携を深めながら、予算の裏付けをもった依頼を模索する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

ア 市が委託した総合型地域スポーツクラブが運営する地域クラブ組織に登録するクラブに対し、市内施設を利用するときの費用の減免などを実施する。

イ 市が委託した総合型地域スポーツクラブが運営する地域クラブ組織に登録するクラブに対し、会員になっている生徒の数に応じて補助金を検討する。

取組の成果

ア 10月より市独自の地域クラブの承認を行い、試験的にかみのやまスポーツクラブを運営団体として統括的なクラブ運営を実施した。承認されたクラブは定められた社会体育施設の使用料減免を実施し、負担軽減を図った。

No.	減免したクラブ	種別	時期
1	上山RC	陸上	10月～
2	上山FC	サッカー	10月～
3	かみのやまバスケットボールクラブ	バスケット	10月～
4	北桜会	剣道	10月～
5	かみのやまスポーツクラブ	マルチスポーツ	10月～
6	上山バレーボールクラブ	バレーボール	1月～
7	上山ソフトテニスクラブ	ソフトテニス	1月～
8	上山BBC	軟式野球	未実施

イ 10月より市独自に地域クラブの承認を行い、試験的にかみのやまスポーツクラブを運営団体として統括的なクラブ運営を実施した。承認されたクラブには、中学生一人当たり個人補助金月額1,000円、クラブへは団体補助金5,000円を支給した。（モデルクラブは除外）
↓2月実績

No.	クラブ名	個人補助(人)	団体補助	補助実績(円)
1	上山RC	16名	○	¥21,000
2	上山FC	15名	○	¥20,000
3	上山バスケットボールクラブ	27名	○	¥32,000
4	北桜会	3名	○	¥8,000

今後の取組における課題

ア・イ クラブにおける一定の参加費用の負担軽減が図れた。所属人数の差により、補助金のみでは支出を賄えない現状が明らかになった。

スポーツ庁が示した認定地域クラブの認定要件は所属中学生が5名以上とされ、個人への補助金の在り方が課題となっている。

課題への対応方針

ア・イ 所属人数・月謝額・指導者謝金額など、多面的な要素を考慮し、補助金支給のシステムを見直していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

ア 市内小中学校の施設を積極的に利用できるように、予約システムの改善を検討する。

イ 山形県立明新館高等学校の施設も利用しやすいように整える。

取組の成果

ア 小中学校の利用状況を下記のように一覧にして市のHPに掲載し、地域クラブが小中学校の施設を積極的に利用できるようにした。

2026年2月 1 ページ目

2026年1月20現在	北中学校	023-672-1502
	南中学校	023-672-1500
	宮川中学校	023-674-3058
空き ○	上山小学校	023-672-1400
空無 ×	南小学校	023-673-3130
	宮川小学校	023-674-2816
	中川小学校	023-679-2234

お電話にて空き情報をご確認ください

2026年2月1日(日)			
学校名	午前	午後	夜間
北中学校体育館(A面)	×	○	×
北中学校体育館(B面)	×	○	×
北中学校グランド	×	×	×
南中学校体育館(A面)	×	×	○
南中学校体育館(B面)	×	×	○
南中学校グランド	×	○	○
宮川中学校体育館(A面)	×	○	○
宮川中学校体育館(B面)	×	○	○
宮川中学校グランド	×	×	×
上山小学校体育館(A面)	×	○	×
上山小学校体育館(B面)	×	○	×
上山小学校グランド	×	×	×
南小学校体育館(A面)	×	×	×
南小学校体育館(B面)	×	×	×
南小学校グランド	×	○	○
宮川小学校体育館(A面)	○	○	○
宮川小学校体育館(B面)	○	○	○
宮川小学校グランド	○	○	×
中川小学校体育館(A面)	×	×	○
中川小学校体育館(B面)	×	×	○
中川小学校グランド	×	×	×

イ 前年度までに設備の借用申請が必要で、具体的にはバレーボールクラブのみ体育館借用があった。

今後の取組における課題

ア データ提出をお願いしている小中学校職員の負担が大きい。

イ 市の所管外の施設であるので、事前予約の手間、使用料の軽減の有無など、利用しやすいように整えることは難しい。

課題への対応方針

ア 地域クラブとの連携のため、HP掲載は継続する。

イ 地域クラブ個別で、明新館高校の借用を実態に応じて考えていただく。本市のみの特別な優先利用は、県の施設ということで難しいと、教頭先生からうかがっている。

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

ア モデル校とモデル施設を選定し、スマートロックの導入、キーボックス等による鍵の受け渡しの実施。

2.実証内容と成果①

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

ア 過去3年間のモデル事業で指定した6クラブを礎にして、市の設立支援の下、10月より地域クラブを市独自で承認できた。

No.	承認した地域クラブ	種別
1	上山RC	陸上
2	上山FC	サッカー
3	北桜会	剣道
4	かみのやまスポーツクラブ	マルチ・運営
5	かみのやまバスケットボールクラブ	バスケットボール
6	上山バレーボールクラブ	バレーボール
7	上山ソフトテニスクラブ	ソフトテニス
8	上山BBC	軟式野球

イ 運営団体として、非営利活動法人かみのやまスポーツクラブを主体とした、「部活動サポートかみのやま（通称ブカサポかみのやま）」を立ち上げることができた。市の支援の下、9月まではモデル事業として運営準備を行い、10月からは市の委託事業として実証的な活動に取組んだ。（↓ブカサポHP）



ウ 1月に認定地域クラブ設立要ガイドラインを策定し、設立説明会を実施し、令和8年度よりの新上山認定地域クラブと認定運営クラブ設立の準備ができた。

No.	認定（設立）予定の地域クラブ	種別
1	上山RC（継続）	陸上
2	上山FC（継続）	サッカー
3	北桜会（継続）	剣道
4	かみのやまバスケットボールクラブ（継続）	バスケットボール
5	上山バレーボールクラブ（継続）	バレーボール
6	上山ソフトテニスクラブ（継続）	ソフトテニス
7	上山BBC（継続）	軟式野球
8	スマッシュクラブ（新規）	卓球

No.	認定予定の運営団体	種別
1	かみのやまスポーツクラブ（継続）	マルチ・運営

エ モデルクラブとして上山バレーボールクラブ、上山ソフトボールクラブ、かみのやまスポーツクラブが実証事業に参加し、部活動地域展開のあるべき姿を標榜しながら実証的に活動できた。

オ スポーツ担当の部活動地域展開コーディネーターを2名配置し、部活地域展開推進が図り、地域クラブの設立、運営団体の骨格を作ることができた。

総括・成果の評価・今後に向けて

●成果の評価

ア・ウ 3年間でモデル事業に指定したモデルクラブ数は3であったが、今年は8つの地域クラブを承認し、さらに次年度へ向け新規の認定クラブ設立の準備が整ったことは、成果である。

イ・ウ 1年間をかけて、運営団体の在り方を検討し、令和8年度よりの認定運営クラブ設置の準備が整ったことは、成果である。

エ 3つのモデルクラブは新規に設立した地域クラブと運営クラブであるが、中学生の受け皿組織として、よりよいものにするため、指導者と運営スタッフにはご苦労いただいたおかげで認定地域クラブ雛形となり、成果があった。

オ コーディネーターは、想定した職務は実施できたが、学校・地域クラブ・運営団体職員との情報共有などに課題が残った。

●今後に向けて

ア 中学校に設置されていない運動部、認定クラブ設立要件5名が確保されない地域クラブ、全く新しいスポーツの種目など、条件や状況の違いがあっても認められ、支援の受けられる地域クラブも視野に入れて条件整備を行う。

イ 認定地域クラブの実施主体とは別に、クラブの運営を担う運営団体である部活動サポートかみのやまの職務内容と、市からの委託内容が未確定なことがあり、事務軽減と効率化の視点で見直していく。

事務の効率化のために、コミュニケーションアプリを試験導入しているが、使い勝手の視点で、導入アプリの見直しを行う。

ウ 認定地域クラブ設立要綱が整い、中学校部活動の土日の受け皿となる認定地域クラブ設立を今年度以上に促進していくとともに、市よりの財政的支援の条件整備も行う。

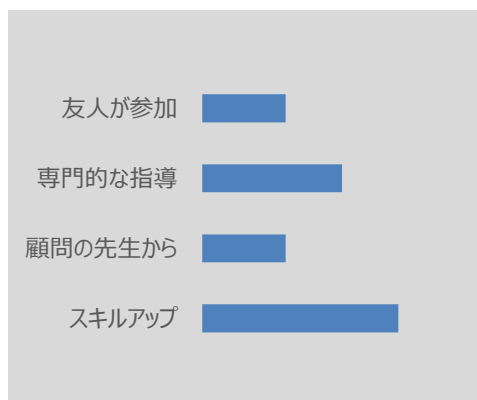
オ コーディネーターと関係団体・関係職員との相互理解が促進できるような、情報共有に努める。

2.実証内容と成果②

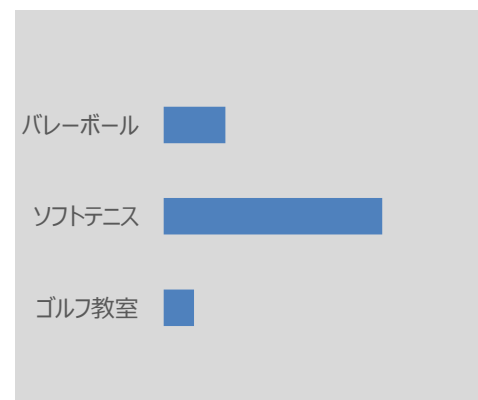
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

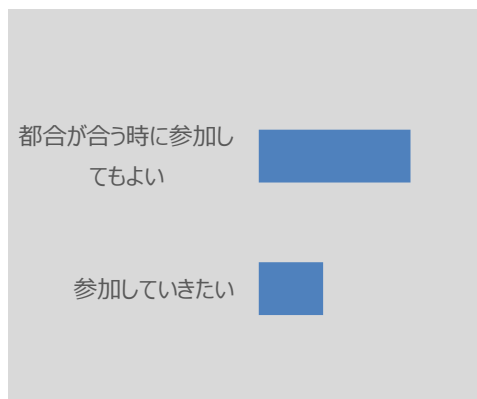
Q.参加したきっかけは何ですか？



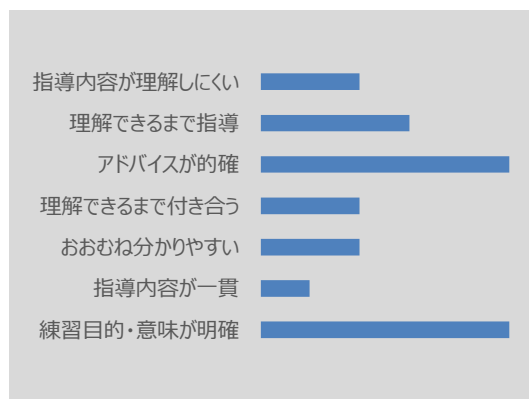
Q.参加した活動は？



Q.週末の活動として開催された場合、今後の活動について教えてください



Q.指導の分かりやすさはどうでしたか？



●参加者の声

参加者①

部活で、クラブで言われたことを実践してみたらうまくいった。

参加者②

細かく指導してくれるので前よりテニスについて深く知れたこと。

参加者③

自分が苦手なところの改善につながった。

参加者④

指導の仕方をもう少し優しくしてほしい。

参加者⑤

分かりやすい練習内容でクラブが楽しい。

参加者⑥

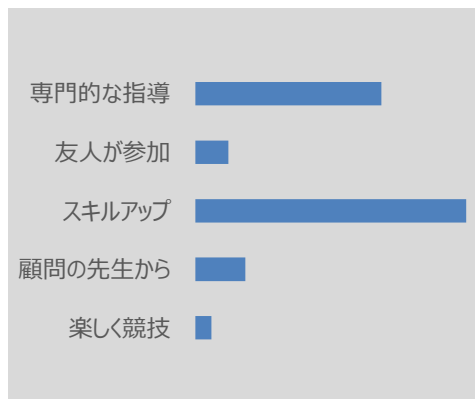
もう少し練習する日にちを増やして欲しいです。

2.実証内容と成果②

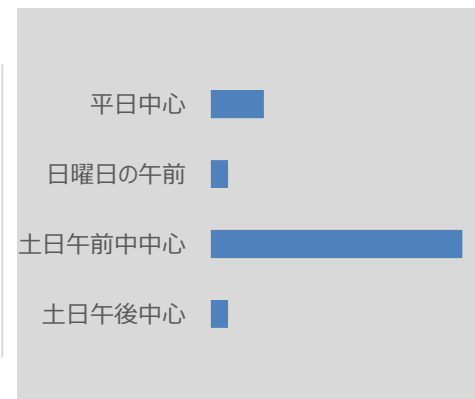
アンケート結果・参加保護者の声

●アンケート結果

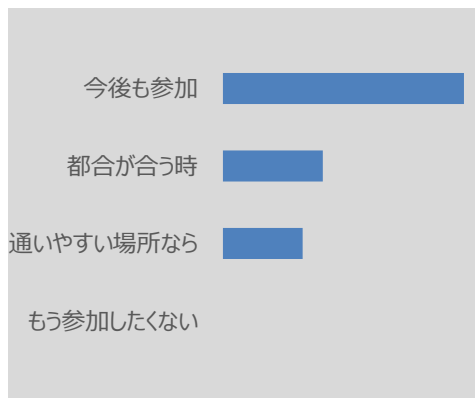
Q.参加したきっかけは何ですか？



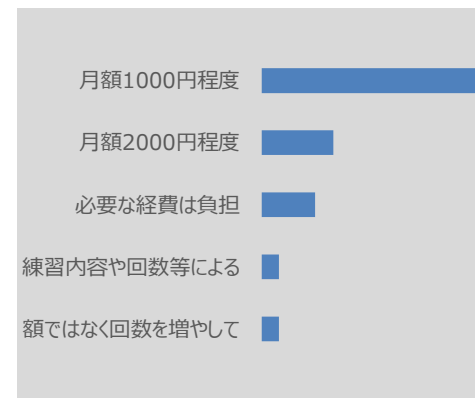
Q.活動開催日程について？



Q.週末の活動として開催された場合、今後の活動について教えてください？



Q.参加費についてのお考えをお聞かせください？



●参加保護者の声

参加保護者①

子供達同士、他校との繋がりができた。コーチとの繋がりが、交流により、良い練習ができていると思います。

参加保護者②

部活が少ない中で、外部の活動では専門の方が指導してくれるので、とても良い刺激になっている。

参加保護者③

初めてのスポーツが体験できて楽しかったようだ。

参加保護者④

部活での物足りなさを感じていたので、練習の機会が増えた事。

参加保護者⑤

練習場所は地区ごとの学校メインにしてほしい、送迎も親ありきでは無く子供の行動範囲内で練習場所を設定してほしい

参加保護者⑥

練習試合や、他の大会への参加なども実施して頂けたら良いなと思います。

アンケート結果・指導者の声

●アンケート結果

Q.今後地域展開を進めるにあたり、改善することがあれば教えてください？

・クラブでは大会出場は行わず中学校チームで出場するが、監督は校長、教員、部活動指導員に限られ、練習試合等の持ち方が不明瞭。

Q.市からどのような支援があると指導がしやすくなると思いますか？

・クラブと学校間のコミュニケーションのみに委ねず、交通整理していただきたい。
・人-指導者、物-コート、金-補助金の手だてがあれば良い。
・教育委員会事務局と体育施設管理団体との情報が共有されていないように感じます。

Q.その他、ご意見・ご要望・ご感想など、ございましたらお聞かせください？

・スマホ等での情報やりとりについて行けません。

2.実証内容と成果④

参考資料



【上山バレーボールクラブ 練習（上山明新館高校）】



【かみのやまスポーツクラブ ゴルフ教室（上山ゴルフガーデン）】



【上山ソフトテニスクラブ 練習（南部体育館）】



【かみのやまスポーツクラブ 部活動体験教室 陸上・剣道（体文センター）】

2.実証内容と成果

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

検討委員会設置

地域クラブ設置の
基本方針策定

令和7年

検討会開催・相
談会開催・関係
団体との調整

認定（承認）ク
ラブ設立、説明
会開催

令和8年

認定地域クラブ
活動の開始

地域クラブ活動
の拡大

検討委員会

●ステークホルダー

スポーツ協会・中学校・スポーツ少年団・市担
当部局

●経過

5月と3月に開催する部活動地域展開での重
要な機関

●実施にあたって生じた課題

- ・指導者の確保
- ・少人数の部活動への支援の可否

●実施内容

- ・地域クラブの基本方針を検討・承認する
- ・部活動改革の方針や認定地域クラブ設置
要綱なども検討する

相談会

●ステークホルダー

クラブチーム・スポーツ少年団・競技団体
設立を考えている者

●経過

期間を設定した8～9月と随時、スポーツ振
興係、生涯学習係、コーディネーターが被相
談者と地域クラブについての相談を実施

●実施にあたって生じた課題

- ・広報、募集活動への不安
- ・謝金に経費が掛かりすぎへの不安
- ・平日も活動を実施することへの不安
- ・地区中体連への参加方法への疑問

●実施内容

- ・地域クラブ設立に関する相談
- ・設立に関する申請書式の説明

説明会

●ステークホルダー

地域クラブ・設立を考えている者・中学校

●経過

9月に地域クラブ設立と運営団体に関する
説明会実施

1月に認定地域クラブ設立に関する説明会
実施

●実施にあたって生じた課題

- ・平日の部活動と、土日の地域クラブでの活
動とを合わせた時間の把握方法
- ・次年度以降の地区中体連や競技団体主
催の大会参加の動向

●実施内容、工夫した点

・説明会の第2部として、地域クラブ指導者と
該当競技団体と中学校部活動顧問等3者
で情報共有の会を実施。大会参加の見込み、
情報交換の手段などを確認。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

